

平成31年度学校課題研究計画

小山城東小学校 学習指導部

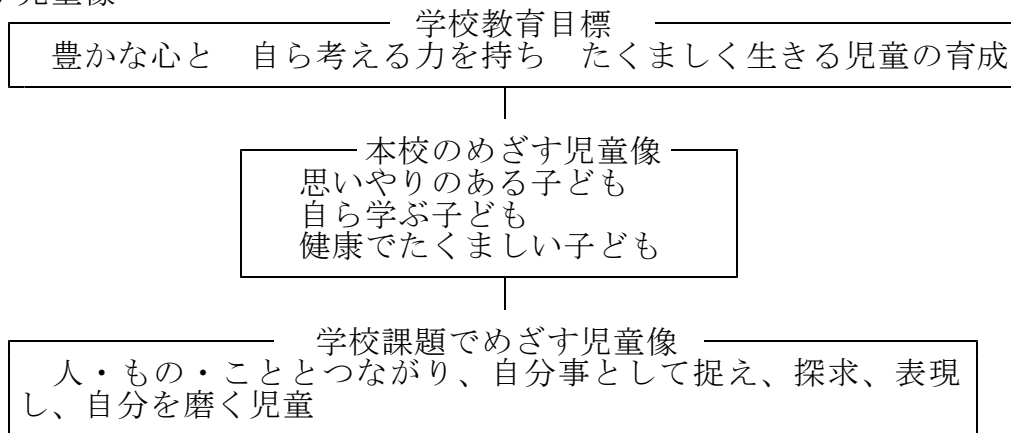
1 研究主題

「かかわり、気付き、深め、表現する学びの輪
～主体的・対話的で深い学びを育む生活科・総合的な学習の時間を通して～」

2 研究主題設定の理由

子ども達が成人し、社会で活躍する頃には、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は、現在よりさらに急速に変化することが予想され、予測が困難な時代となっている。また、急激な少子高齢化により、一人一人が持続可能な社会の担い手としての役割を担うことになる。今回の学習指導要領の改定では、“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子ども達に育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すことを謳われている。主体的に関わり、感性を豊かに働かせ、どのような未来を創っていくのか、自らの可能性を發揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることが重要になる。そこで、「よりよく生きる力」を育む生活科、総合的な学習の時間が重要になると考える。昨年度は、2年間の学力向上応援団派遣事業の2年目として、「書く」表現力に重点を置き、学力向上に努めてきた。その結果、書くことのみならず、児童の学力向上に結びつけることができた。また、「本気で向上」を合い言葉に取り組んだ成果が表れ、教師の指導力、組織力も向上した。この2年間の成果を今年度の学校課題研修にも生かし、生活科・総合的な学習の研究を学校課題とし、全教職員で取り組んでいきたい。さらに、今年度の三中ブロック小中一貫教育の課題が「書く」表現力である事も生かして、研究を深めていきたいと考える。

3 めざす児童像



| 学年 | めざす児童像 |
|----|--------|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |
| 6 | |
| 特支 | |

4 研究の仮説

以下の(1)～(4)に取り組むことで、
「かかわり、気付き、深め、表現する学びの輪
～主体的・対話的で深い学びを育む生活科・総合的な学習の時間を通して～」につながるであろう。

- (1) 学習の流れが分かる言葉で学習過程を示し、先の見通しをもって(見通しボードの活用)学習に取り組むことができるようにすれば、主体的に学習する児童を育てることができるだろう。
- (2) 目的意識や相手意識をもたせて学習課題を明確にし、体験活動や人と触れ合う活動を多く取り入れれば、児童は主体的・対話的に学習活動に取り組むであろう。
- (3) 地域の人・もの・こととのつながりから課題を探求することで、地域を身近に感じ、自分事として捉え、自分の生き方を磨くことにつながるであろう。
- (4) 学年体制を強化し、重点課題を設けて研究を充実させれば、教師の授業力向上につながるであろう。

5 研究の内容・方法

「学びの質の向上」「教師の授業力向上」「組織力の向上」を目指すために、以下の(1)から(12)の内容を行う。

「学びの質の向上」

- (1) **見通しボード**で学習の流れを示すことで、学習の過程を明確にし、児童一人一人が、今行っている学習に**主体的**に取り組めるようにする。
- (2) **ゴール**を見据えた単元計画を作成し、ゴールからめあてを設定することで、めあてをもって、**主体的**に学習に取り組めるようにする。また、ゴールの自分の姿を想像することで、**意欲的**に取り組めるようにする。
- (3) **目的意識・相手意識**をもてるような状況を設定し、児童が**主体的**に学習に取り組めるようにする。
- (4) **体験活動**を取り入れ、実感を伴った学習を展開することで、自分事として捉え**よりよく生きる力**が育めるようにする。
- (5) 対象に直接関わる**体験**を多く取り入れ、自分の思いや願いを明確にし、気付きの質を高め、**自信**をもって次の学びに向かうことができるようにする。
- (6) 培った「**書く**」**表現力**を、説明、図、表などのさまざまな表現に広げ、**まとめ発信する力**を高めることができるようにする。
- (7) **身近な人・もの・こと**とのつながりを通して、地域のよさを知り、**地域とともに生きていく児童**を育てるようにする。
- (8) **さまざまな人と関わりながら学習を深める**ことで、**考えを深め、自分の生き方を磨く**ことができるようにする。

「教師の授業力向上」

- (9) 学年の研究とし、学年で深めていく**重点内容**を設定し、学年研修等で話し合いを行う。(一人一授業としての授業公開も含める)
- (10) 本気で向上**マイプラン**を作成し、学年・個人の取り組みを考え、実行し、PDCAサイクルで毎学期振り返る。

「組織力の向上」

- (11) 校内の授業研究会を実施し、全員で研修を行う。
- (12) 低・中・高ブロックに、特別支援、ことばの教室担当、無担が入るようにして、教材研究や指導案検討会を行う。

